

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 沖縄県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	北部病院	2
-	中部病院	3
-	南部医療センター・こども医療センター	4
-	宮古病院	5
-	八重山病院	6
-	精和病院	7
沖縄県離島医療組合	久米島病院	8

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
北部病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,273 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	325	59.1	74.7	75.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	327	58.7	74.3	74.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	14.2	14.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	866,765,908	
標準財政規模(千円)	390,338,762	
財政力指数	0.37469	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	41.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.4
修正医業収益(千円)	4,996,022

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,109,210			
1 経常収益	7,089,118			
(1) 医業収益	5,137,399			
入院収益	3,681,504			
外来収益	1,228,816			
診療収入計	4,910,320			
その他医業収益	227,079			
(うち他会計負担金)	141,377			
(2) 医業外収益	1,951,719			
(うち国・都道府県補助金)	1,048,724			
(うち他会計補助・負担金)	718,506			
(うち長期前受金戻入)	142,394			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,092			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,860,513			
2 経常費用	6,842,028			
(1) 医業費用	6,627,967			
職員給与費	4,394,553	85.5	62.1	63.5
材料費	901,219	17.5	25.3	24.9
(うち薬品費)	312,145	6.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	541,527	10.5	11.4	11.8
減価償却費	239,036	4.7	9.5	10.0
経費	1,066,993	20.8	22.7	21.7
(うち委託料)	642,315	12.5	12.6	12.2
研究研修費	12,677			
資産減耗費	13,489			
(2) 医業外費用	214,061			
(うち支払利息)	7,700	0.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	18,485			
損益				
経常損益	247,090			
純損益	248,697			
累積欠損金	2,821,885			
経常収支比率	103.6		101.9	101.7
医業収支比率	77.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	12.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	12.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	91.0		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	68,876,619
1 固定資産	46,405,302
(1) 有形固定資産	44,902,265
(2) 無形固定資産	13,476
(3) 投資その他の資産	1,489,561
2 流動資産	22,471,317
(1) 現金及び預金	8,840,008
(2) 未収金及び未収収益	13,520,373
(3) 貸倒引当金( )	857,443
(4) 貯蔵品	961,788
3 繰延資産	-
負債合計	67,350,210
1 固定負債	40,974,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,428,783
(2) その他の企業債	189,930
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	5,884,454
(7) リース債務	71,709
2 流動負債	11,250,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,420,490
(2) その他の企業債	21,970
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,803,059
(6) リース債務	39,014
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,480,016
(9) 前受金及び前受収益	3,260
3 繰延収益	15,124,929
(1) 長期前受金	48,667,054
(2) 長期前受金収益化累計額( )	33,542,125
資本合計	1,526,409
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-352,176
(1) 資本金剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	-6,722,098
負債・資本合計	68,876,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	646,762	859,883
資本勘定繰入	151,467	353,438
計	798,229	1,213,321

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 中部病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,361 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	41	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	555	80.5	93.8	90.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	559	80.0	93.1	90.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	11.6	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	866,765,908	
標準財政規模(千円)	390,338,762	
財政力指数	0.37469	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	41.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.5
修正医業収益(千円)	14,840,878

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,436,463			
1 経常収益	19,306,751			
(1) 医業収益	15,091,638			
入院収益	11,048,293			
外来収益	3,629,453			
診療収入計	14,677,746			
その他医業収益	413,892			
(うち他会計負担金)	250,760			
(2) 医業外収益	4,215,113			
(うち国・都道府県補助金)	2,302,834			
(うち他会計補助・負担金)	1,254,414			
(うち長期前受金戻入)	417,307			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	129,712			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,659,482			
2 経常費用	18,556,142			
(1) 医業費用	17,765,905			
職員給与費	10,368,349	68.7	62.1	55.8
材料費	3,912,620	25.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,905,778	12.6	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,899,104	12.6	11.4	13.0
減価償却費	633,461	4.2	9.5	8.7
経費	2,782,669	18.4	22.7	19.7
(うち委託料)	1,638,255	10.9	12.6	12.6
研究研修費	46,723			
資産減耗費	22,083			
(2) 医業外費用	790,237			
(うち支払利息)	84,293	0.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	103,340			
損益				
経常損益	750,609			
純損益	776,981			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.0		101.9	102.5
医業収支比率	84.9		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	95.9		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	68,876,619
1 固定資産	46,405,302
(1) 有形固定資産	44,902,265
(2) 無形固定資産	13,476
(3) 投資その他の資産	1,489,561
2 流動資産	22,471,317
(1) 現金及び預金	8,840,008
(2) 未収金及び未収収益	13,520,373
(3) 貸倒引当金( )	857,443
(4) 貯蔵品	961,788
3 繰延資産	-
負債合計	67,350,210
1 固定負債	40,974,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,428,783
(2) その他の企業債	189,930
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	5,884,454
(7) リース債務	71,709
2 流動負債	11,250,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,420,490
(2) その他の企業債	21,970
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,803,059
(6) リース債務	39,014
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,480,016
(9) 前受金及び前受収益	3,260
3 繰延収益	15,124,929
(1) 長期前受金	48,667,054
(2) 長期前受金収益化累計額( )	33,542,125
資本合計	1,526,409
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-352,176
(1) 資本金剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	-6,722,098
負債・資本合計	68,876,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,405,951	1,505,174
資本勘定繰入	484,829	913,088
計	1,890,780	2,418,262

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 南部医療センター・こども医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,714 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	50	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	423	80.7	93.1	94.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	5	64.5	66.9	73.5
感染症	6	-	-	-
計	434	79.4	91.5	92.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.4	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	866,765,908	
標準財政規模(千円)	390,338,762	
財政力指数	0.37469	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	41.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.2
修正医業収益(千円)	14,246,626

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,580,638			
1 経常収益	19,557,773			
(1) 医業収益	14,504,119			
入院収益	11,324,955			
外来収益	2,812,249			
診療収入計	14,137,204			
その他医業収益	366,915			
(うち他会計負担金)	257,493			
(2) 医業外収益	5,053,654			
(うち国・都道府県補助金)	2,609,495			
(うち他会計補助・負担金)	1,528,966			
(うち長期前受金戻入)	748,146			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,865			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,572,796			
2 経常費用	18,254,043			
(1) 医業費用	17,334,091			
職員給与費	10,411,445	71.8	62.1	59.8
材料費	3,455,979	23.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,393,299	9.6	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,060,755	14.2	11.4	12.4
減価償却費	1,081,832	7.5	9.5	8.2
経費	2,306,085	15.9	22.7	19.2
(うち委託料)	1,181,677	8.1	12.6	10.2
研究研修費	26,788			
資産減耗費	51,962			
(2) 医業外費用	919,952			
(うち支払利息)	198,448	1.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	318,753			
損益				
経常損益	1,303,730			
純損益	1,007,842			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.1		101.9	103.7
医業収支比率	83.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	12.3		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	97.4		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	68,876,619
1 固定資産	46,405,302
(1) 有形固定資産	44,902,265
(2) 無形固定資産	13,476
(3) 投資その他の資産	1,489,561
2 流動資産	22,471,317
(1) 現金及び預金	8,840,008
(2) 未収金及び未収収益	13,520,373
(3) 貸倒引当金( )	857,443
(4) 貯蔵品	961,788
3 繰延資産	-
負債合計	67,350,210
1 固定負債	40,974,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,428,783
(2) その他の企業債	189,930
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	5,884,454
(7) リース債務	71,709
2 流動負債	11,250,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,420,490
(2) その他の企業債	21,970
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,803,059
(6) リース債務	39,014
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,480,016
(9) 前受金及び前受収益	3,260
3 繰延収益	15,124,929
(1) 長期前受金	48,667,054
(2) 長期前受金収益化累計額( )	33,542,125
資本合計	1,526,409
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-352,176
(1) 資本金剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	-6,722,098
負債・資本合計	68,876,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,665,221	1,786,459
資本勘定繰入	551,802	880,696
計	2,217,023	2,667,155

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 宮古病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,410 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	66.6	74.1	79.1
療養	-	-	-	-
結核	3	10.5	35.3	55.4
精神	49	77.4	64.4	73.4
感染症	3	-	-	-
計	305	67.1	71.5	77.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.1	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	866,765,908	
標準財政規模(千円)	390,338,762	
財政力指数	0.37469	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	41.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.5
修正医業収益(千円)	5,005,149

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,047,277			
1 経常収益	7,029,855			
(1) 医業収益	5,146,526			
入院収益	3,564,230			
外来収益	1,363,724			
診療収入計	4,927,954			
その他医業収益	218,572			
(うち他会計負担金)	141,377			
(2) 医業外収益	1,883,329			
(うち国・都道府県補助金)	802,808			
(うち他会計補助・負担金)	824,230			
(うち長期前受金戻入)	216,813			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	17,422			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,157,491			
2 経常費用	7,118,254			
(1) 医業費用	6,805,238			
職員給与費	3,980,117	77.3	62.1	63.5
材料費	1,133,322	22.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	597,175	11.6	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	535,771	10.4	11.4	11.8
減価償却費	508,803	9.9	9.5	10.0
経費	1,164,456	22.6	22.7	21.7
(うち委託料)	737,620	14.3	12.6	12.2
研究研修費	14,175			
資産減耗費	4,365			
(2) 医業外費用	313,016			
(うち支払利息)	61,069	1.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	39,237			
損益				
経常損益	-88,399			
純損益	-110,214			
累積欠損金	8,185,531			
経常収支比率	98.8		101.9	101.7
医業収支比率	75.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.8		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	13.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	85.2		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	68,876,619
1 固定資産	46,405,302
(1) 有形固定資産	44,902,265
(2) 無形固定資産	13,476
(3) 投資その他の資産	1,489,561
2 流動資産	22,471,317
(1) 現金及び預金	8,840,008
(2) 未収金及び未収収益	13,520,373
(3) 貸倒引当金( )	857,443
(4) 貯蔵品	961,788
3 繰延資産	-
負債合計	67,350,210
1 固定負債	40,974,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,428,783
(2) その他の企業債	189,930
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	5,884,454
(7) リース債務	71,709
2 流動負債	11,250,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,420,490
(2) その他の企業債	21,970
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,803,059
(6) リース債務	39,014
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,480,016
(9) 前受金及び前受収益	3,260
3 繰延収益	15,124,929
(1) 長期前受金	48,667,054
(2) 長期前受金収益化累計額( )	33,542,125
資本合計	1,526,409
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-352,176
(1) 資本金剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	-6,722,098
負債・資本合計	68,876,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	726,078	965,607
資本勘定繰入	106,493	196,674
計	832,571	1,162,281

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				沖縄県	
市町村・組合名					
病院名 八重山病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,480 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感へ災		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	255	62.3	76.0	67.1
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	38	51.7	53.8	33.0
感染症	3	-	-	-
計	302	59.1	70.9	60.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.4	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	866,765,908	
標準財政規模(千円)	390,338,762	
財政力指数	0.37469	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	41.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.2
修正医業収益(千円)	4,883,278

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,265,863			
1 経常収益	7,534,139			
(1) 医業収益	5,024,655			
入院収益	3,311,944			
外来収益	1,435,951			
診療収入計	4,747,895			
その他医業収益	276,760			
(うち他会計負担金)	141,377			
(2) 医業外収益	2,509,484			
(うち国・都道府県補助金)	1,044,498			
(うち他会計補助・負担金)	959,877			
(うち長期前受金戻入)	466,156			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	731,724			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,202,369			
2 経常費用	7,200,112			
(1) 医業費用	6,855,380			
職員給与費	3,992,827	79.5	62.1	63.5
材料費	919,249	18.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	407,682	8.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	511,168	10.2	11.4	11.8
減価償却費	760,012	15.1	9.5	10.0
経費	1,164,148	23.2	22.7	21.7
(うち委託料)	764,479	15.2	12.6	12.2
研究研修費	14,645			
資産減耗費	4,499			
(2) 医業外費用	344,732			
(うち支払利息)	72,578	1.4	1.3	1.4
(3) 特別損失	1,002,257			
損益				
経常損益	334,027			
純損益	63,494			
累積欠損金	2,146,813			
経常収支比率	104.6		101.9	101.7
医業収支比率	73.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	13.3		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	89.3		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	68,876,619
1 固定資産	46,405,302
(1) 有形固定資産	44,902,265
(2) 無形固定資産	13,476
(3) 投資その他の資産	1,489,561
2 流動資産	22,471,317
(1) 現金及び預金	8,840,008
(2) 未収金及び未収収益	13,520,373
(3) 貸倒引当金( )	857,443
(4) 貯蔵品	961,788
3 繰延資産	-
負債合計	67,350,210
1 固定負債	40,974,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,428,783
(2) その他の企業債	189,930
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	5,884,454
(7) リース債務	71,709
2 流動負債	11,250,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,420,490
(2) その他の企業債	21,970
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,803,059
(6) リース債務	39,014
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,480,016
(9) 前受金及び前受収益	3,260
3 繰延収益	15,124,929
(1) 長期前受金	48,667,054
(2) 長期前受金収益化累計額( )	33,542,125
資本合計	1,526,409
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-352,176
(1) 資本金剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	-6,722,098
負債・資本合計	68,876,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	707,668	1,101,254
資本勘定繰入	248,409	403,774
計	956,077	1,505,028

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 沖縄県	
市町村・組合名					
病院名	精和病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,196 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	5	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	4	0.8	-	-
精神	246	54.3	70.0	75.9
感染症	-	-	-	-
計	250	53.5	68.9	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,467,480	
決算規模(千円)	866,765,908	
標準財政規模(千円)	390,338,762	
財政力指数	0.37469	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	41.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	52.1
修正医業収益(千円)	1,175,872

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,560,089			
1 経常収益	2,558,791			
(1) 医業収益	1,175,872			
入院収益	804,797			
外来収益	350,357			
診療収入計	1,155,154			
その他医業収益	20,718			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,382,919			
(うち国・都道府県補助金)	672,545			
(うち他会計補助・負担金)	645,285			
(うち長期前受金戻入)	54,850			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,298			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,317,129			
2 経常費用	2,310,256			
(1) 医業費用	2,255,083			
職員給与費	1,696,853	144.3	62.1	104.8
材料費	234,629	20.0	25.3	8.7
(うち薬品費)	180,318	15.3	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,867	1.1	11.4	1.3
減価償却費	63,447	5.4	9.5	13.5
経費	249,444	21.2	22.7	33.3
(うち委託料)	120,866	10.3	12.6	18.6
研究研修費	2,972			
資産減耗費	7,738			
(2) 医業外費用	55,173			
(うち支払利息)	5,318	0.5	1.3	2.7
(3) 特別損失	6,873			
損益				
経常損益	248,535			
純損益	242,960			
累積欠損金	2,200,777			
経常収支比率	110.8		101.9	101.4
医業収支比率	52.1		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.2		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	54.9		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	25.2		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	82.8		89.3	66.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	68,876,619
1 固定資産	46,405,302
(1) 有形固定資産	44,902,265
(2) 無形固定資産	13,476
(3) 投資その他の資産	1,489,561
2 流動資産	22,471,317
(1) 現金及び預金	8,840,008
(2) 未収金及び未収収益	13,520,373
(3) 貸倒引当金( )	857,443
(4) 貯蔵品	961,788
3 繰延資産	-
負債合計	67,350,210
1 固定負債	40,974,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,428,783
(2) その他の企業債	189,930
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	5,884,454
(7) リース債務	71,709
2 流動負債	11,250,405
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,420,490
(2) その他の企業債	21,970
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	200,000
(5) 引当金	1,803,059
(6) リース債務	39,014
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,480,016
(9) 前受金及び前受収益	3,260
3 繰延収益	15,124,929
(1) 長期前受金	48,667,054
(2) 長期前受金収益化累計額( )	33,542,125
資本合計	1,526,409
1 資本金	1,878,585
2 剰余金	-352,176
(1) 資本金剰余金	6,369,922
(2) 利益剰余金	-6,722,098
負債・資本合計	68,876,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	634,059	645,285
資本勘定繰入	29,134	60,607
計	663,193	705,892

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		沖縄県	
市町村・組合名	沖縄県離島医療組合		
病院名	久米島病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,481 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	14	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	55.8	67.8	58.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	55.8	67.8	58.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.3	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	319,258			
1 経常収益	319,258			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	319,258			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	256,007			
(うち長期前受金戻入)	63,251			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	322,322			
2 経常費用	322,322			
(1) 医業費用	306,949			
職員給与費	20,398	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	64,466	-	9.5	13.0
経費	219,645	-	22.7	47.1
(うち委託料)	2,035	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	2,440			
(2) 医業外費用	15,373			
(うち支払利息)	14,184	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-3,064			
純損益	-3,064			
累積欠損金	451,080			
経常収支比率	99.0		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	80.2		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	80.2		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	19.6		89.3	64.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,276,071
1 固定資産	1,215,198
(1) 有形固定資産	1,214,418
(2) 無形固定資産	780
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	60,873
(1) 現金及び預金	60,053
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,519,141
1 固定負債	743,537
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	736,296
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,241
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	774,414
(1) 長期前受金	837,664
(2) 長期前受金収益化累計額( )	63,250
資本合計	-243,070
1 資本金	14,138
2 剰余金	-257,208
(1) 資本金剰余金	193,872
(2) 利益剰余金	-451,080
負債・資本合計	1,276,071
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	243,070
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	251,280	256,007
資本勘定繰入	68,687	115,360
計	319,967	371,367

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。